

1972年8月のO-4に全長128.0mm1尾が丸特ネットにより出現した。すでに背鰭および臀鰭の前後の背腹正中線に1縦列に並ぶ細長い鱗があった。

21. *Macrorhamphosidae* サギフエ科 (14回出現、28尾)

*Macrorhamphosus scolopax* (LINNE) サギフエ (14回出現、28尾)

冬期から春期にかけて出現し、出現盛期は冬期、出現海域は沖縄南部海域と沖縄北西部海域で主分布域は黒潮主流域と東支那海域、出現個体の全長範囲は4.0-21.8mmでモードは8.1-10.0mmにある。

22. *Syngnathidae* ヨウジウオ科 (15回出現、22尾)

*Syngnathus argyrostictus* KAUP ガンテンショウジ (5回出現、9尾)

春期から夏期にかけて出現し、出現海域は沿岸域である。出現個体の全長範囲は38.8-63.4mmである。

*Halicampus koilomatodon* KAUP ウミヤッコ (5回出現、5尾)

春期から夏期にかけて出現し、出現盛期は春期、出現海域は前種同様沿岸域。出現個体の全長範囲は13.3-18.0mmである。

*Hippichthys nox* (SNYDER) ボウヨウジ (1回出現、1尾)

1973年8月のB-8に全長20.0mm1尾が出現した。

*Hippocampus aterrimus* JORDAN et SNYDER マメマキタツ

(3回出現、6尾)

春期と秋期に出現し、春期に多い。出現海域は沖縄南部沿岸域と東部沿岸域、特に金武湾内に多く出現した。流れ藻と共に採集された。

*Hippocampus kuda* BLEEKER クダタツ (1回出現、1尾)

1974年10月のA-9に全長31.0mm1尾が出現した。

23. *Holocentridae* イットウダイ (7回出現、18尾)

*Holocentridae* gen.sp. イットウダイ科種不明 (7回出現、18尾)

春期から秋期にかけて出現し、出現盛期は秋期、出現海域は沖縄南部海域、北西部海域、黒潮主流域、東支那海域で東支那海域に多く出現した。出現個体の全長範囲は6.3-24.8mmである。

24. *Monocentris japonicus* マツカサウオ科 (1回出現、1尾)

*Monocentris japonicus* (HOYTTUYN) マツカサウオ (1回出現、1尾)

1973年12月のA-3に全長17.0mm1尾が出現した。

25. *Trachipteridae* フリソデウオ科 (1回出現、1尾)

*Trachipterus* sp. フリソデウオ属種不明 (1回出現、1尾)

1975年3月のO-4に全長6.5mm1尾が丸特ネットにより出現した。なお同属の卵はいたるところに出現した。

26. *Atheridae* トウゴロウイワシ科 (14回出現、40尾)